

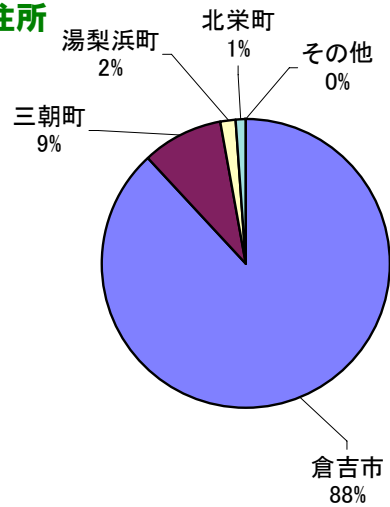
アンケート結果と住民意見について

平成20年3月7日

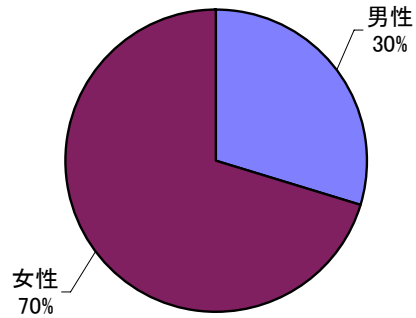
国土交通省 中国地方整備局
倉吉河川国道事務所

○アンケート回答者の構成

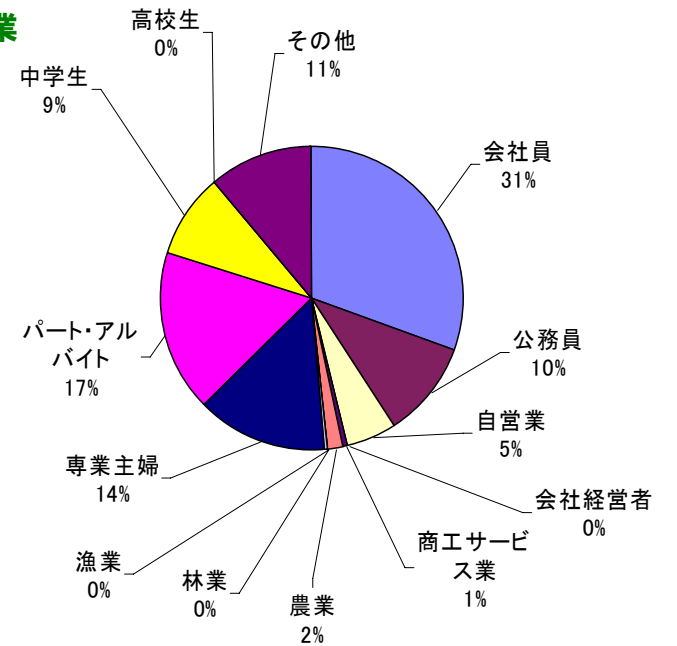
住所



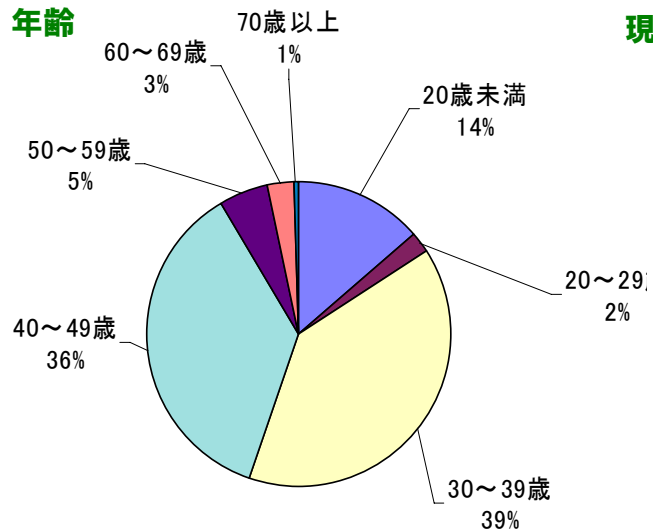
性別



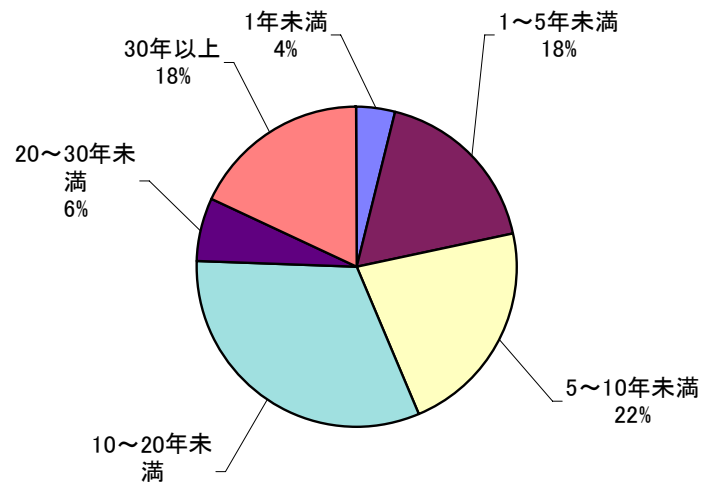
職業



年齢



現住所での居住年数



住民意見と基本理念への反映

項目	アンケート結果・意見 住民説明会配布 87 通、流域住民配布（小中学校経由）1460 通、学識委員から関係者へ配布 15 通：【合計 1,562 通】	河川整備への要望と基本理念への反映
治水	<p>洪水の経験について</p> <p>洪水に対する安全性</p> <p>天神川では今後どのような治水対策が必要と思うか</p> <p><アンケート結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害にあった方は約 5%と少なく、洪水に対して危険と回答した方も「やや危険」まで含めて約 15%程度であり、比較的安全な河川であると認識されていると言えます。 ・必要と考える治水対策では、堤防・護岸が最も多く、次いで堤防の漏水対策となっております。目に見える安心感を満たす整備が多くなっています。また、河道内樹木の多さの指摘もあります。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年大雨の回数又雨量が想像を超え増えている気がする。洪水が起こってからではおそいので、できるかぎりの対策をお願いしたい。 ・とにかく水害に強い川でなければ安心して暮らせない。台風や大雨による災害がないように整備して頂きたい。 ・天神川流域の堤防は、対応年数を経過しており、今後、崩壊の可能性が高いと思われるので、至急対策を望む。 ・川の中（中州のような所）にかなり木が茂っているが、早目に伐採した方がよい。 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水に対して安全、安心な整備が望まれています。 <p>【基本理念】 いつまでも安心・安全を確保できる川づくり</p> <p>水系全体で、戦後最大洪水を安全に流下できる川づくりを目指します。</p>
利水・環境	<p>水のきれいさ</p> <p>動植物の豊かさ</p> <p><アンケート結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水のきれいさは「とてもきれい」「まあまあきれい」と感じている人が過半数（54%）となっています。 ・動植物の豊かさは、否定的に捉えている人よりも「豊か」「美しい」と肯定的に捉えている人の人が多くなっています。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を大切にすることを一番考えて、それぞれの対策（工事）を行うよう検討していただきたい ・治水事業などの成果を確認しながらも、河川の再生に向けて、今後、地域住民とともに取り組んでいっていただきたい。 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を大切にしながら、川との触れあいも求められています。 ・より利用しやすい整備の方向を望む意見も多くなっています。 <p>【基本理念】 美しい水辺を取り戻し人と自然にやさしい川づくり</p> <p>過去の美しい天神川の姿の回復を目指し、人と自然にやさしい川づくりを目指します</p>
河川利用	<p>レジャーや散策等で天神川を日常的に利用しているか</p> <p>天神川を日常的に利用する目的</p> <p><アンケート結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に利用している人は約 30%で、利用目的は「散策」が最も多くなっています。 ・その他では、「祭り・伝統行事」のイベント系、「水遊び」が続いています。 <p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の近くで行政と地域、子供を巻き込む行事を増やせば親も親しむ機会が増えると思います。 ・子供が安全に自然とふれあえる場所が整備してあればもっと利用しやすくなると思います。 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々が集い合える場、子どもたちが遊べる場としての要望も多くなっています。 <p>【基本理念】 人が集い地域に活力を創造する川づくり</p> <p>天神川を中心として人々の連携を深め、地域の活力をはぐくむ場としての川づくりを目指します。</p>
今後の整備	<p>天神川をどのようにしていきたいと思うか</p> <p><アンケート結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水に対する安全性を望む意見が最も多くなっていますが、現状のような動植物の豊かな河川や、安全に利用できる川を望む意見もあり、バランスの取れた整備の方向性が見えます。 <p><主な意見>（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく水害に強い川でなければ安心して暮らせない。台風や大雨による災害がないように整備して頂きたい。 ・自然を大切にすることを一番考えて、それぞれの対策（工事）を行うよう検討していただきたい。 ・子供が安全に自然とふれあえる場所の整備 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治水・利水・環境のバランスの取れた河川整備が望まれています。 <p>【基本理念】 いつまでも安心・安全を確保できる川づくり 美しい水辺を取り戻し人と自然にやさしい川づくり 人が集い地域に活力を創造する川づくり</p>

住民意見とその対応（住民説明会、無作為抽出アンケート等による1,562通）

整備内容	項目	意見	整備計画への反映
整備目標	基本理念	・洪水が起こり、大きな災害をもたらすことがあるかもしれないが、それは川の治水だけの問題ではなく川をとりまく自然環境の問題も含まれていて総合的に考える必要がある。（洪水：15、治水：7 環境：14、水量：6、利水1）	天神川水系（国管理区間）の河川整備計画では、流域で生活する人々に潤いと安心を与え、鳥取県中部地区の発展に寄与し、自然豊かな河川空間や天神川らしい景観を次代に継承するとともに、地域で生活する人々が鳥取県を訪れる人々に誇れる川をめざします。 基本方針（いつまでも安心・安全を確保できる川づくり、美しい水辺を取り戻し人と自然にやさしい川づくり、人が集い地域に活力を創造する川づくり）
	洪水を安全に流下させる目標	・水害に強い川でなければ安心して暮らせない。台風や大雨による災害がないように整備して欲しい。（洪水：15、安全：19、水害：3）	洪水による災害発生の防止および軽減に関しては、『安心・安全な川づくり』を目指すため、戦後最大洪水である昭和34年伊勢湾台風洪水と同規模の洪水が発生しても計画高水位以下で安全に流すことを目標とします。
河川整備	急流河川対策	・堤防、護岸などの未整備箇所の早期整備。（急流：0、護岸：3、堤防：6）	天神川水系は急流河川であることから、必要に応じて護岸、根固工によって河岸侵食への対策を実施します。
	堤防整備 堤防の質的強化	・天神川流域の堤防は、対応年数を経過しており、今後、崩壊の可能性が高いと思われるので、至急対策を望む。（堤防：6）	天神川水系の国管理区間については、堤防の高さや幅の足りない区間、浸透に対して危険な区間で、浸透対策のための整備を実施します。
	河床掘削・樹木伐開	・樹木伐採や堤防の内側で大水の時水位を上げるものの除去。（土砂：1、土：13、砂：2、竹：1、樹：6、草：8、木：13）	目標流量に対して河川水の流れる断面積が不足している箇所においては、断面積の拡大のために河床掘削、樹木伐採を行います。なお、実施にあたっては、河川の自然の営みと治水対策との調和を図りつつ、自然環境の保全に努めます。
	人と川のふれあいの場の整備	・子供が安全に自然とふれあえる場所が整備してあればもっと利用しやすくなる（自然：23、親しむ：7、子ども：42、利用：19）	水辺の魅力を最大限に引き出し、住民参加と地域連携など地元主体となる川づくりを支援し、地域の活性化に寄与でき、豊かな暮らしを支える川づくりを実施することにより、より多くの人が川に向き、より親しめる川づくりを目指します。
	景観の保全	・川の中に樹木が多く景観が悪い。（景観：2、土：13、砂：2、竹：1、樹：6、草：8、木：13）	河道内に繁茂する草本類や樹林は、水面の見える美しい河川景観を阻害しており、かつての「礫河原の見える天神川」の回復に努めます。また、天神川らしい水辺景観の保全、維持に努めることにより、ふるさとの歴史の中に育まれた天神川らしさを織り成す自然環境、歴史的環境を維持します。
	河川環境の維持・保全	・魚、水生生物、動植物が戻ってくる環境の保護。（環境：14、自然：23、魚：17、鳥：7、植物5）	動植物の生息環境の向上に配慮し、天神川の特徴である豊かで清らかな流れが育んできた河川特有の自然環境の保全に努めます。
	水質の保全	・水量が豊富で水がきれいな水辺の環境づくり。（水量：6、水質：2、きれいな水：3）	河川の利用状況、沿川地域等の水利用状況、現状の良好な水環境を考慮し、下水道等の関連事業や関係機関との連携・調整、及び地域住民等との連携を図りながら、現状の良好な水質の保全に努めます。
維持管理	河川美化のための体制	・川をきれいにするためにまずは、ゴミ拾いを徹底して欲しい。そのような活動があれば積極的に参加していきたい。（維持：1、管理：3、美化：1、清掃：3）	違法行為の発見、是正措置のため、日頃より、河川に設置している河川監視カメラを活用し監視するとともに、定期的な巡視による監視を行い、関係自治体、警察、自治会等と日頃より連携を取って是正措置を講じ、発生の防止に努めます。また、河川美化活動を実施すると共に、ゴミの持ち帰りやマナー向上の取り組みを行います。
	河道内樹木管理	・川の中に生えている草木は適度に伐採したほうがいい。程よい草木が魚や自然環境につながる。（土砂：1、土：13、砂：2、竹：1、樹：6、草：8、木：13）	河道内樹木の繁茂状況を随時把握するとともに、洪水の安全な流下や河川巡視に支障とならないよう、また、良好な河川景観の維持や防犯上の観点からも、河道内樹木を適切に管理します。
	危機管理体制の整備	・計画を超える豪雨に対して、被害を少なくするための「減災」についても対策を進めて欲しい。（防災：2、情報：3、災害：4、危：11、安：27）	洪水時の河川の状況を迅速かつ的確に把握して、水防活動や避難などの水防活動を効果的に行うため、普段から河川管理者が有する雨量や水位などの河川情報をより分かりやすい情報として伝達するとともに、地域の実情に詳しい方等から内水の状況等現地の状況などを聞き取り、様々な情報を共有する体制の確立に努めます。 洪水ハザードマップの作成・公表に対し、引き続き支援・協力を行います。

*）意見欄の数字は、「自由意見」欄(172名回答)に対象となるキーワードが含まれている回答数を示す。

【天神川水系河川整備計画 地元説明会議事要旨】

○日 時：平成 18 年 10 月 2 日 19:00～20:30

○場 所：倉吉市 関金総合文化センター

○参加人数：7 名

表－1 住民説明会での意見（倉吉市関金会場）

項 目	意 見
河川整備計画の内容等に関する意見	1) 一度に樹木がない川の実現は難しいが、近づきやすい川、親しみやすい川、なるべく水面広く流れる川であつたらいい。 2) 今後の何十年かの河川整備で、地域住民の要望するものが、実現可能なのか。 3) 樹木の管理について、予算が少ないから管理できないのか。洪水時に流速が遅くなつてよいのかもしれないが、維持管理し、撤去すべきである。 4) 川に入りにくいので、川に入りやすい環境をつくってほしい。 5) 以前は、砂利採取等で川に入れる道があつたようで自由に入ることができた。今の時代、管理用通路に鎖が張つてあり川に入れないのはいかがなものか。
その他の意見	1) 県管理の堤防が無い未改修箇所はどう考えているか。 2) 下水道の整備が進んだおかげで、水が清浄であると感じられる。

○日 時：平成 18 年 10 月 3 日 19:00～20:30

○場 所：倉吉市 倉吉未来中心

○参加人数：10 名

表－2 住民説明会での意見（倉吉市倉吉会場）

項 目	意 見
河川整備計画の内容等に関する意見	1) S9 室戸台風の時の降水量は、流域内でどの程度の降雨量を見積もっているのか。それは現状の降水量を比較してどうか。 2) 天神川の河口は、開口部が僅かであるが、洪水時に大丈夫か。 3) 現状の堤防強度はどうか。 4) ゴミが多く流れている。河口に堆積している。河川清掃の日を増やしてもよいのではないか。 5) 今の魚道は、形だけで、機能していないのではないか。
その他の意見	1) 国府川右岸にある小さい水門では、水防活動で毎年内水排水しているが今後の対策はどうか。 2) 内水浸水で、国と県、市町との関係はどうなっているのか。警報等をどう県、市町に通報しているのか。また、危険箇所、要注意箇所の通報も市町から通報されるのか。

*) 内水対策は、河川整備計画の整備内容に直接含まれるものではないため「その他の意見」欄に収録した。

- 日 時：平成 18 年 10 月 12 日 19:00～20:30
 ○場 所：北栄町 北条農村環境改善センター中会議室
 ○参加人数：10 名

表－3 住民説明会での意見（北栄町会場）

項 目	意 見
河川整備計画の内容等に関する意見	1) 北野神社の話があったが、今でも岩盤があり水が右によるように曲がっているが、それをまっすぐする予定があるか。 2) 現在の水質は昔よりかなり悪い。透明度もない。 3) 天神川の樹木は相当切られているが、樹木は全て切ったほうが良いと思う。 4) 山陰線より上流の堤防が低いのはなぜか。そこから北条用水に水が入るとんでもない被害が発生する。 5) 今は川に人が寄り付かない状態である。
その他の意見	1) 用水では子どもたちが川に落ちることに対して保険がかけてあるが、天神川でもそういったことはあるか。

- 日 時：平成 18 年 10 月 26 日 19:00～20:00
 ○場 所：湯梨浜町 田後地区公民館大会議室
 ○参加人数：60 名

表－4 住民説明会での意見（湯梨浜町会場）

項 目	意 見
河川整備計画の内容等に関する意見	1) 北条の土手に桜づつみがあるが、あれはどこの管轄なのか。
その他の意見	1) 消防団で天神川の中に入って訓練等をしたい時に、倉吉河川国道事務所まで鍵を借りていけないといけないので役場に預けてもらえないか。

- 日 時：平成 18 年 11 月 8 日 19:00～20:30
 ○場 所：三朝町 総合文化ホール 1F 大会議室
 ○参加人数：13 名

表－5 住民説明会での意見（三朝町会場）

項 目	意 見
河川整備計画の内容等に関する意見	1) 水辺の楽校は、台風ですぐに流れている印象があり、あまり意味がないのではないか。 2) 土木関係の工事が多く、アユが育たないとも聞くが、いかがか。 3) 漁業組合の方から、アユ等について何か問題点というか指摘はなかったか。 4) 三徳川の合流点のロイヤルホテルのところから大原橋のところの道路は、通学路等で使用されているにもかかわらず歩道がなく大変危険な状態であるので、高水敷を整備して遊歩道を付けて欲しい
その他の意見	1) 天神川等に流れ込む支川について、整備されているところとそうでないところがあるが、それを把握した上での計画として欲しい。 2) アユが釣れなかったら国土交通省で補償をしてくれるのか。 3) 三徳川は温泉街の下流で直轄区間が終わっており、直轄区間の延長をお願いしたい。 4) 住民の声をもっと聴く努力をして欲しい。

